

むなしく消えて行く様な気分

外の冷たい空気にあたりながら詩を作った。

恋と愛の狭間に生きる

恋はすべてを棄て

恋はすべてを求め

恋はすべてを傷つけ

恋はすべてを滅ぼす。

恋はやがて愛にかわり、

愛はすべてを包み、

愛はすべてを担い、

愛はすべてを許し、

愛はすべてを救い、

愛はすべてを照らす。

やがて愛はすべてに注ぎ、

愛はすべてに勝ち、

愛はすべてに宿る花となる。

やがて愛の花は実を結び、

この世に愛の喜びをまき散らす。

恋は愛となり、生きる愛の喜びを生む。

何のことか、混乱して、

ようわからん様になったが、